

# 憲法審査会レポート

2023-4-21

No. 15

編集：平和フォーラム

## 2023年4月20日（木） 第211回国会（常会） 第8回 衆議院憲法審査会

### 【アーカイブ動画】

[https://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php?ex=VL&deli\\_id=54548](https://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php?ex=VL&deli_id=54548)

※「はじめから再生」をクリックしてください

### 【会議録】

※公開され次第追加します（おおむね2週間後になります）

### 【マスコミ報道から】

**衆院憲法審査会 自衛隊明記を巡って討議 自民は9条改憲を主張、立民と共産は反発**

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/245293>

“衆院憲法審査会は20日、憲法への自衛隊明記を巡って討議した。自民党が戦争放棄などをうたう9条を改憲し自衛隊を位置づけるべきだと主張したのに対し、立憲民主党は拙速な論議が行われているなどとして反発した。”

**衆院憲法審査会・発言の要旨（2023年4月20日）**

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/245300>

**公明、自民の9条改憲案に反対表明 衆院憲法審査会で**

<https://mainichi.jp/articles/20230420/k00/00m/010/261000c>

“「（自民側は）『妨げず』はあくまでも（戦力不保持の）9条2項の範囲内にあると述べているが、『妨げず』を例外規定として使用する法律は数多くある。9条2項の例外規定と読まれる余地を残すことになり、賛成できない”

※自民党・公明党の自衛隊明記をめぐる主張については飯島滋明さん（名古屋学院大学教授）の以下の論考を参照してください。

**【壊憲・改憲ウォッチ（28）】自衛隊明記の憲法改正を主張する自民党・公明党など**

<http://www.anti-war.info/watch/2304211/>

## 立民が憲法への自衛隊明記に慎重論 中国反発を懸念

<https://www.sankei.com/article/20230420-4PKMKJR74NO4LFP77URVV5GZ3Y/>

“立憲民主党の吉田晴美衆院議員が20日の憲法審査会で、自民党などが提案する9条への自衛隊明記をめぐり、中国などの反発を招きかねないと懸念を示す場面があった。「国内だけの問題にとどまらない。国際的にどう受け止められるだろうか」と述べた。”

### “選挙困難な場合 国会議員任期を延長”認める可能性も 立民

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230420/k10014043921000.html>

“「結論によっては、憲法に選挙が困難な事態における議員任期の特例を設ける必要が出てくる可能性もありうる」”

“「私たちは、緊急集会でやっていけないのではないかという想定だが、まず、参議院でしっかり議論してもらいたい」”

## 【傍聴者の感想】

第8回の衆院憲法審査会は、最初に7会派の代表が順に発言をしました。

課題を定めずに自由討議という申し合わせだったようですが、立憲民主を除くすべての会派が9条の改正あるいは自衛隊明記について発言し、ある委員からは「どこかで示し合わせているのですか」という皮肉も漏れていました。

その一方で国民民主と公明の委員からは「この間、緊急事態条項の議論を詰めてきたのに、9条を課題にするとむしろ議論が拡散してしまう」という意見も。自民党は従

来通りの主張を漫然と語り、その応援団がまとめを促すという分担のようです。

会派代表の発言後は7人が発言し、立憲民主の階委員は国民投票法の問題について、吉田はるみ委員は憲法審査会のNHK中継について提起しました。

各委員が思うところの問題意識を語って終わりといわんばかりの審査会運営は歯がゆいですが、その中で頑張っている立憲野党の委員の皆さんを今後も応援していく必要があります。皆さんもよろしくお願ひします。(T)

## 参議院憲法審査会は今週の開催なし

### 【マスコミ報道から】

#### 参院憲法審査会、「慣例」により開催見送り 弾劾裁判の開催日

<https://www.sankei.com/article/20230419-6BELC2XE5NL2FIYPIYFEWLESGU/>

“参院憲法審査会の開催が19日、見送られた。弾劾裁判の開催日は憲法審を開かないという慣例があるという。自民党は同日の幹事懇談会で慣例を見直すべきだと訴えたが、結論は出なかった。次回憲法審は26日、参院選挙区の合区問題をテーマに開かれる。”

※統一地方自治体選挙および衆参補欠選挙中につき、国会議員コメントは来週以降に掲載予定です。